# 目次


野蛮と文明―プロローグ …… 1

外国交際事始め

攘夷と開国のはざまで …… 8

神戸事件の勃発／「外国事務掛」の設置／初の列強との交渉／堺事件／「三職達」の発令／プティ・トゥアールの手記／モンブランの登用／天皇謁見問題の顚末／パークス襲撃事件／井上馨の開国主義

新政府と外国人問題 …… 29

五箇条の御誓文と攘夷批判／列国から承認される新政権／海外駐在使節／外国官の東京移転／移転する公使館／条約改正と列国／公議所の開設

外交官の誕生

若き外交官たち …… 44

新しい官制のもとで／在外使臣問題／最初の外交官・鮫島尚信／二番目の外交官・森有礼／外務省ついに霞ヶ関へ／官制再編と条約改正への道／奔走する鮫島／ワシントンに仮公館開設／外交代表として

## 岩倉使節団の外交……58

欧米諸国と岩倉使節団／森の外交政策／大久保利通と伊藤博文の帰国／三人目の外交官・寺島宗則／ロンドンに弁務使館設置／フランスでの交渉／日仏の文化交流／法学者・ボアソナード／岩倉使節団と留守政府の対立／鮫島と国際東洋学者会議

# 「場」としての外交

## 奔走する鮫島尚信……78

浮上する外交問題／征韓論争／鮫島のパリでの活動／鮫島の叙勲／上野景範と青木周蔵のパリ到着／台湾出兵問題／樺太問題／上野の対英外交／江華島事件

## マーシャルのインテリジェンス活動……98

不平等条約改正へ向けて／マーシャルの籠絡外交／キリスト教政策／井上の洋行／マーシャルの活動／鮫島再びフランスへ／改正交渉の挫折

# 動乱の秋、欧化の途

## シンボルとしての建築……116

井上馨の大夜会／井上の工部卿就任／森の駐英公使就任／鮫島の死／国会開設へ向けて

改正交渉と国際情勢の変化 …… 132

難航する改正交渉／ドイツ流立憲政への転換／条約改正予備会議／壬午事変／原敬の登場／済物浦条約／清との対立／安南事件／森のイギリスでの活動

鹿鳴館外交から帝国主義へ

鹿鳴館 …… 158

文明の微醺／日本文化への接ぎ木／外交官の交際法／プランケットの来日／井上の建議書／清仏戦争／榎本武揚の調停／甲申事変／英・露・仏の東アジア進出／改正新草案の作成／内閣制度の始まりと官制改革／西洋文化の浸透

原敬のパリ …… 189

青年外交官・原敬／マーシャルの情報提供／日本人留学生たち／クリスチャン・原敬／条約改正会議／蜂須賀茂韶の帰国／巡洋艦・畝傍／鹿鳴館の終幕／辞任する井上／大隈の外相就任／原の臨時代理解任／大隈の外交政策／帰国する原／条約改正から帝国主義への道

戦争と平和―エピローグ …… 221